

# 岡山大学

# MONTHLY DIGEST

VOL. 23  
2018. 03

TOPICS

## 1 平成29年度岡山大学学位記等授与式を挙



本学は3月23日、平成29年度学位記等授与式を岡山県総合グラウンド体育館(ジップアリーナ岡山)で行い、学部生・大学院生ら計3,198人の門出を祝福しました。

式では国歌・学歌斉唱に続き、榎野博史学長が学部・研究科などの総代21人に学位記・修了証書を授与。学業成績と人物がともに優れた学生に授与する「岡山大学黒正賞」の受賞者16人の表彰も行い、代表者に賞状を贈りました。

榎野学長は「この先激しく変わりゆく時代が待ち受けているが、本学の伝統と精神をこれから先も変わらず持ち続けてほしい」と式辞。卒業生・修了生を代表し、マッチングプログラムコースの和田綾乃さん、医歯薬学総合研究科の大谷理浩さんが答辞を述べました。

会場の外では部活動やサークルの後輩たちが詰めかけ、卒業生に花束を渡すなど祝福しました。また、卒業生は家族や友人と記念撮影するなどして別れを惜しんでいました。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id7416.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7416.html)

## 岡山大学SDGs推進本部を設置 SDGsの達成に貢献する岡山大学の活動を推進！

TOPICS

2

本学のSDGs達成の観点を取り入れた大学運営を進めるとともに、地域及び国際社会とのより一体的なパートナーシップ構築のための取り組みを推進することを目的として、「岡山大学SDGs推進本部」を2月28日、設置しました。

SDGs推進本部は、榎野博史学長を本部長として、SDGsの達成に貢献する本学の活動の推進に関することや地域、国際社会などとのパートナーシップ構築に関する企画立案や審議などの業務を行います。SDGs推進本部には、業務に関わる事項を審議する「運営会議」(議長は本部長)と推進本部から諮問された事項を検討し企画・立案するための「企画会議」が設けられています。

今後、学内外の多様なステークホルダーとさらなる連携を深めつつ、これまで培ってきた本学ならびに岡山の地での特色ある取り組みを継続しつつ、榎野ビジョンの「実りの学都」を基礎として、岡山でしかできない特色あるSDGsを強力かつ、着実に推進していきます。

参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id7400.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7400.html)

### 最近の大学の取り組み

## 「スーパーグローバル大学創成支援事業」ウェブサイト(日・英)を公開！



本学はこのたび、スーパーグローバル大学創成支援事業中間評価において、5段階評価のうち、上位から2番目の「A」評価を受けました。スーパーグローバル大学創成支援事業を幅広く周知し、日本の大学の国際化の取り組みに資するよう本学は3月20日、本事業によって得られた成果などを共有するため、本学の取り組み「PRIMEプログラム」を紹介する専用ウェブサイト日本語・英語版で同時開設しました。是非とも、ご覧ください。

●「スーパーグローバル大学創成支援事業」ウェブサイトはこちら  
<https://www.sgu.ccsv.okayama-u.ac.jp/>



# 大学院環境生命科学研究科が

## ベトナムに海外事務室を開室

本学大学院環境生命科学研究科は3月9日、ベトナム・ホーチミン市第3区に海外事務室を開室し、同日、開室式を行いました。この事務室は、ベトナム・ドンナイ省科学技術局とのさらなる交流強化の一環として、同局の全面的な理解のもと、開室に至りました。

開室式には、同研究科の舟橋弘晃研究科長のほか、ドンナイ省科学技術局とホーチミン市・ノンラム大学の関係者らが出席。また、ノンラム大学で3月5日から2週間の予定で実施しているサマースクールで講師を担当している5人の気鋭の若手教員や、3月5日からノンラム大学とドンナイ省科学技術局において海外農場体験実習を行っている本学農学部の4人の学生と引率教員も出席し、開室を祝いました。



参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id7391.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7391.html)

## 「学生文化奨励賞・学生スポーツ賞」授与式を挙



平成29年度「学生文化奨励賞・学生スポーツ賞」授与式が3月22日、創立五十周年記念館で行われ、個人の部77人・団体の部15団体が受賞しました。

授与式では佐野寛理事・副学長(教育担当)が各賞の代表者に表彰状を授与。佐野理事は「正課の勉学に加え、人一倍の努力を伴ってやり通した正課外活動の経験は、皆さんが社会に出た際にも大きな財産として生きるものであり、今後の活躍を期待しています」と激励しました。

学生文化奨励賞は、正課外文化活動において優秀な成績を収めた、または活動実績が認められた学生を顕彰する制度です。学生スポーツ賞は、国際大会や全国大会等の正課外スポーツ活動において活躍し優秀な成績を収めた、または社会貢献活動を継続的に行ったり、校友会活動に貢献した学生を顕彰する制度です。



参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id7422.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id7422.html)

### PRESS RELEASE 1

## がんの低侵襲治療が可能な医療用ロボット(Zerobot®) ～平成30年4月から臨床試験開始～

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科の平木隆夫准教授、金澤右病院長・教授と岡山大学大学院自然科学研究科の松野隆幸准教授、亀川哲志講師らのグループは、がんの低侵襲治療や検査が可能な医療用ロボット(名称: Zerobot®)の開発に成功し、平成30年4月から岡山大学病院において臨床試験(First-in-Human)を開始します。ロボットは、CT画像をもとにがんなどの病変に針を刺入するのに用い、刺入した針で病変の治療や検査を行います。医師は遠隔操作でロボットを動かすため、CTによる被ばくがなく、手ぶれのない正確な針の刺入を行うことが期待されます。医師の遠隔操作により針の刺入が行うことができる医療用ロボットは世界的にも例はなく画期的な成果であり、臨床試験の実施は、世界初・日本発のロボットの製品化に向けた大きな一歩となります。



参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/up\\_load\\_files/press29/press-180322-4.pdf](http://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/press29/press-180322-4.pdf)



### PRESS RELEASE 2

## カーボンナノチューブを有機色素で染めて使う 新しい光触媒技術を開発

岡山大学大学院環境生命科学研究科(環)の高口豊准教授、田嶋智之講師、村上範武大学院生と山口大学大学院創成科学研究科の三宅秀明助教らの共同研究グループは、カーボンナノチューブの内部空間に色素分子を封じ込めることで、光照射下において、色素増感水分解反応による水素製造が可能になることを世界で初めて確認しました。また、通常の光触媒[1]では利用困難な赤色光(波長650 nm)照射下で水分解水素生成反応の活性を比較したところ、染色したカーボンナノチューブ光触媒の量子収率(1.4%)は、色素分子をもたないカーボンナノチューブ光触媒の量子収率(0.011%)に比べて、活性が120倍になることも確認されました。本研究成果は3月5日米国化学会雑誌「*Journal of American Chemical Society*」誌で公開されました。



参考 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release\\_id532.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id532.html)